

第 2 学年 道徳 学習指導案

1 主題名 「誠実な態度」 【1－(3)】

2 資料名 「佐藤さんの顔を思い浮かべながら」(私たちの新しい生き方 2)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目 1－(3) の『自主自律』について、学習指導要領の解説においては『自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本である。』とある。また、発達的な観点として、『中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる。しかし、一方では自由の意味をはき違えて奔放な生活を送ったり、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されてしまったりすることも少なくない。』とある。

人間として誇りをもって生きていくためには、自ら考え、判断し、実行し、自分の行為の結果に責任をもつことが求められる。どのような小さな行為であっても自分の意志で決定したものであれば、それに対して責任をもつようになり、誠実に実行するようになる。

ここでは、自らの意志で決めたことを誠実に実行しようという気持ちを育てるとともに、それができない時でも他に対して自分のできることを誠実に果たしていこうとする気持ちを育てたい。

(2) 生徒の実態について

① 中学校全体について

2 年間にわたって行った HUMAN の結果では、赤塚中学校の生徒はどの項目においても全国平均の値を上回り、良好な道徳的価値が概ね身に付いているということが分かった。

当校の生徒は、体育祭や合唱祭などの学校行事にも仲間と協力して熱心に取り組んだり、日常清掃や地域のクリーン活動など、様々な種類の活動をまじめに取り組んだりできる。しかし、頑張る理由が『先生や先輩に頑張れと言われたから』『周りの友達も頑張っているから』と、どこか他人任せだったり、活動をやらされている雰囲気があったりする生徒も見られる。

このように、『与えられた役割』を真摯に果たそうとする姿が見られる一方、『自ら考え、判断して行動する』ことが苦手な側面が見られる。しかし、中学校生活においては、学校行事や学校生活などについて、自分達で考え、判断し、誠実に実行し、結果に責任をもつという場面がたくさんあるため、『自主自律』の精神をより高めて、自主的に行動できる生徒を育成していきたい。

② 学級の生徒について

H27 年 4 月に実施した HUMAN の結果は以下のとおりである。(表の中の I・II・III・IV は、それぞれの問題場面に設定された問いに対する回答を、段階的に示したものである。I は一般的に望ましい道徳的心情あるいは判断と認められる選択肢であり、IV は一般的に望ましくない道徳的心情あるいは判断と認められる選択肢である。)

1. 道徳性総合

回答	学 級	全 国
I	53%	36%
II	35%	36%
III	9%	18%
IV	3%	3%

2. 道徳的心情と道徳的判断力における回答の割合

心 情	回答	学 級	全 国
	I	54%	34%
	II	36%	38%
	III	7%	18%
	IV	3%	10%

判 断	回答	学 級	全 国
	I	53%	38%
	II	34%	35%
	III	11%	18%
	IV	3%	9%

3. 視点ごとの道徳性総合、心情・判断における回答の割合

視点Ⅰ 主として自分自身に関すること

【節度、強い意志、*自主自律、理想の実現、向上心、個性伸長】

総 合	回答	学 級	全 国
	I	50%	32%
	II	37%	40%
	III	11%	18%
	IV	2%	10%

心 情	回答	学 級	全 国
	I	52%	30%
	II	38%	41%
	III	9%	17%
	IV	1%	12%

判 断	回答	学 級	全 国
	I	49%	34%
	II	36%	39%
	III	13%	19%
	IV	2%	8%

視点Ⅱ 主として他の人とのかかわりに関すること

【礼儀、思いやり、信頼・友情、健全な異性観、寛容・謙虚、感謝】

総 合	回答	学 級	全 国
	I	62%	38%
	II	30%	36%
	III	6%	17%
	IV	1%	9%

心 情	回答	学 級	全 国
	I	60%	36%
	II	35%	41%
	III	4%	14%
	IV	1%	9%

判 断	回答	学 級	全 国
	I	65%	40%
	II	25%	32%
	III	8%	20%
	IV	1%	8%

視点Ⅲ 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること

【生命尊重、自然愛、*畏敬の念、人間の強さ弱さ、規則尊重、公德心、正義・公正公平】

総 合	回答	学 級	全 国
	I	42%	26%
	II	45%	42%
	III	8%	19%
	IV	6%	13%

心 情	回答	学 級	全 国
	I	35%	18%
	II	48%	44%
	III	11%	27%
	IV	6%	11%

判 断	回答	学 級	全 国
	I	48%	35%
	II	42%	40%
	III	5%	11%
	IV	6%	14%

視点Ⅳ 主として集団や社会とのかかわりに関すること

【*集団生活の向上、勤労・奉仕、家庭愛、愛校心、*郷土愛、*伝統と文化の継承、国際理解人類愛】

総 合	回答	学 級	全 国
	I	54%	41%
	II	33%	32%
	III	10%	18%
	IV	3%	9%

心 情	回答	学 級	全 国
	I	58%	42%
	II	32%	32%
	III	7%	17%
	IV	3%	9%

判 断	回答	学 級	全 国
	I	50%	40%
	II	34%	32%
	III	14%	19%
	IV	3%	9%

学級の様子としては、4つの視点全てにおいて、望ましいとされる回答の割合が全国よりも多い傾向が見られた。また、26の内容項目のうち、21の内容項目において全国の傾向より望ましい方向にあるという結果であった（内容項目のうち*がついているものは、全国の傾向とほぼ同じである項目）。

学級において、生徒は自分だけでなく周りのことを思いやって行動したり、よりよい学級にしようと協力し合ったりする姿がしばしば見られる。また、教師からの問題提起に対してもきちんと考え、その解決に向かって努力もする。

2年生に進級して、自我が芽生え、自分のことは自分で決めたいという気持ちが強まり、自主的に考え行動しようとする生徒も見られるようになってきた。一方で、自律の意味をはき違えて、自分勝手に無責任な行動をとって周囲に迷惑を掛けたり、逆に周囲の思惑や他人の言動に左右されてしまったりする生徒も見られる。大人の指導を素直に受け入れられないが、自分自身を制御して自主的に考え行動し、自分の行動に責任を取るところまでは成長しておらず、まさに、他律から自律への過渡期にあると言える。

学級の実態と、当校の生徒の実態を踏まえ、道德の時間や日常生活の中で、生徒が自ら考え、望ましい判断を選択し、実行に移せるような場面を積極的に設け、「自主自律」の育成に重点を置いた指導を展開していきたい。

(3) 資料について

<あらすじ>

- ・老人保健施設である「こしじ園」を再訪問すると約束した吹奏楽部の「私」が、その日大切な塾のテストがあることに気付く。テストか演奏か、どうしたらよいのか悩む「私」の心の葛藤を描いている。
- ・資料の中では結論が出ていないため、どうすることが誠実な生き方か、生徒自身が検討し、考えを深めていく資料である。

今回は、生徒にとっても似たような経験があると思われる身近な題材を通して、誠実な態度とは何か、自分の言動に責任をもつとはどのようなことを考えさせたい。そのために、登場人物の行為の背景を想像したり、自分との経験を重ねたりすることで、誠実な生き方についての考えを深め、自分のできることを誠実に果たしていくことの大切さを気付かせたい。

(4) 本時の計画

① 本時のねらい

誠実に責任を果たすことの大切さについて、資料の葛藤場面における個人・グループにおける意思選択で考えを深めることを通して、状況に応じた誠意ある行動をとることの大切さに気付くことができる。

② 本時における「学び合い」についての考え方

- ・共感度スケールを用いて、「私」の心情に対する個人の共感度を4段階で可視化する。
- ・共感度の判断理由を、自分の実体験を踏まえて考える。
→個人作業からグループワークへ。意見交流をする。
- ・意見交流では、ねらいとする価値に反する人間の弱さや迷いに自分事として向き合い、その後の中心発問で解決の糸口やよりよい行為を問い、道德的価値の自覚を深めながら道德的判断力を高める。

(5)本時の展開

学習活動	T：教師の働き掛け S：予想される生徒の反応	■評価 ○留意点
導入	<p>T1 先月の合唱コンクールを思い出してみよう。結果は残念だったけど、みんなは自分の役割をきちんとできたか。</p> <p>S1 伴奏者として練習を頑張りました。</p> <p>S2 実行委員として責任をもって取り組みました。</p> <p>T2 なるほど、責任とは具体的にどんなことをしたの？</p> <p>S3 練習計画をきちんと立てたり、練習の時に声をかけたりして、クラスをまとめるようがんばりました。</p> <p>T3 すごいですね。一人一人が自分の責任をきちんと果たしたからいい合唱コンクールになったんだよね。では、今日は、改めてその『責任』について考えます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習課題</p> <p>『誠実に責任を果たすとは、どういうことなのか』</p> </div> <p>教科書の 92 ページを開いてください。資料を先生が読みます。(資料の前半まで読んだら、プレートを使用して生徒と状況把握をする。)</p>	<p>○学校生活における自分の行動を想起させ、学習課題に関連づけ、資料と日常とを結びつける。</p> <p>○生徒の振り返りなどがあれば取り上げる。</p>
展開	<p>T4 私は何部ですか。また、主人公や友達の演奏を楽しみにしている人は、誰で、どこの施設にいるのですか？</p> <p>S3 吹奏楽部。佐藤さん、こしじ園です。</p> <p>T5 では、後半を読みます。(最後まで範読する)</p> <p>T6 資料の状況を確認した上で次の発問をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問①資料後半に『ねえ、私、来週のこしじ園、行かないとだめかなあ。』という言葉がありますが、このときの私の本音とは、どんなことだと思いますか。</p> </div> <p>S4 塾もあるし、行きたくないなあ。</p> <p>S5 どうしよう、行かなきゃだめかなあ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発問②そうだね。これは、『行きたくないな。』とか『ねえ、行かなくてもいいかな？』という気持ちが裏にありますよね。こうやって悩んでいる主人公の気持ちが、どれくらい分かりますか。</p> </div> <p>T7 ワークシートを配ります。まず、主人公の気持ちがどのくらいわかるか、あなたの考えをチェックしてください。その理由も書いてください。</p> <p><主人公への肯定的立場></p> <p>S6 塾のテストの方が先に決まっていたから優先する。</p> <p>S7 お金もかかっているし、テストの方が大切。クラス決めをすることも自分にとって大切だし。</p>	<p>○生徒との会話を通して内容の確認をしていく。</p> <p>○後半部分もプレートでストーリーを整理する。</p> <p>○主人公の本音の部分を引き出せるように心掛ける。</p> <p>○主人公への共感度を決定し、その理由をワークシートに記述する。</p>

	<p><主人公への否定的立場> S8 塾のテストを今回はどうにかして、演奏会に行こう。 みんな楽しみにしているし。 S9 行かないとみんなを悲しませる。無責任。 <どちらともない立場> S10 代わりの人に行ってもらえたらいい。 S11 謝って、違う日にすればどうかな。 T8 では、これから、みんなが考えたことを班で共有します。ワークシートに貼ってある名前付きの付箋を、共感度スケールの自分の位置に、その理由を言いながら貼ってください。では、班になります。 ～班の共感度スケールに付箋を貼り、可視化を図る～ T9 主人公の『行かなくてもいいかなあ』と悩む気持ちもみんなも分かると思います。</p> <p>発問③『私』は、明日までに結論を出さなければいけません。どういう行動をとるべきだと思いますか。手元の短冊にマジックで書いて、発表しながら貼ってください。</p> <p>T10 発表が終わったら、班の記録係は、班のポスターを黒板に貼りにきてください。 (予想される話し合い) S12 テストの方が大事だから、こしじ園は行かないことにする。 S13 演奏を楽しみにしている人が大勢いるし、こっちを断ると悲しませる人が出てしまうから、こしじ園に行く。 S14 どっちにも行けるようにずらす。行けないなら、きちんと謝らなきゃいけないよね。</p>	<p>○各班に拡大した共感度スケールを配付する。 ⇒心情の可視化</p> <p>○短冊に自分の考えを書き、班のポスターに貼る。 ⇒行動・判断力の可視化</p> <p>○班の中で順に発表して貼る。</p> <p>○机間支援をしながら、生徒の意見を把握する(意図的な指名のため)。</p>
<p>終末</p>	<p>T11 では、席を元に戻しましょう。みんなが考えた、主人公がとるべき行動を見ていきます。○さん、どうしますか。 S15 私は、塾に行きます。 S16 僕はこしじ園に行きます。 S17 私は両方行きたいです。どちらかをずらして両方行けるようにしたいです。</p> <p>発問④なるほど、3つの行動に分かれますね。でも、どの答えも少し行動が欠けていて、誠実とは言えませんよね。これらの行動を優先したときに、何か追加すべき行動はどんなことでしょうか。</p> <p>S18 テストは大切だと思うけれど、自分のことだけじゃなくて、周りのことも考えることが大切だと思う。 S19 行けないとしても、きちんと謝ったり、別の日にできるか確認したりしなくてはいけない。 S20 しっかり事情を話すことも必要。</p>	<p>○ポスターの短冊の中から意図的に意見を選択し、補助発問をして理由を聞き、つなげていく。</p> <p>○黒板に3つの行動をプレートで示す。 ①こしじ園に行く ②塾に行く ③どちらも行く</p> <p>○発問④では、短冊の中から具体例を挙げて説明して、プレートの隣に貼り出す。</p>

	<p>T12 では、今日のまとめをします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 『責任のある行動』とは、①できないときこそ誠実に ②自分より周りを考える ③約束を守る</p> </div> <p>T13 今日の授業の振り返りをします。ワークシートに、テストとこしじ園訪問のどちらを優先するかで悩んでいる主人公に、アドバイスを書いてみましょう。 ○さん、どんなアドバイスを書きましたか。</p> <p>S20 塾の先生にもちゃんと事情を話してから、こしじ園に行けばいいと思うよ。</p> <p>T14 みんなは、主人公にアドバイスしたような行動をとれるようになるうね。</p>	<p><input type="checkbox"/>主人公が悩む気持ちに共感しながらも、誠実に責任のある行動をとることの大切さについて理解している。</p> <p><input type="checkbox"/>誠実に責任のある行動をとることへの意欲や態度が述べられている。</p>
--	---	--

(6) 本時の評価

誠実に責任を果たすことの大切さについて理解して、自分の役割に責任をもって果たそうとする意欲を高めている。